

2024 年 7 月 3 日 全 7 頁

消費データブック（2024/7/3 号）

個社データ・業界統計・JCB 消費 NOW から消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

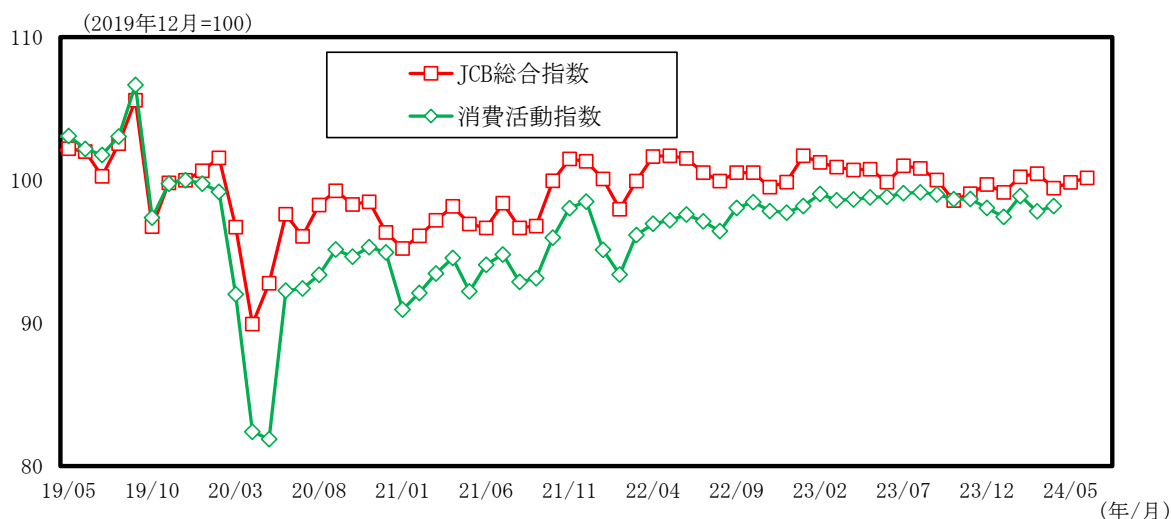
〔要約〕

- 2024 年 5 月の消費は 4 月から増加した。財消費のうち、百貨店商品販売額は新型コロナウイルス感染拡大前の 2019 年同月比で 4 月から伸び率が上昇し、アパレル販売額はマイナス幅が縮小した。新車販売台数は 4 月から増加した（大和総研による季節調整値）。サービスのうち、新幹線輸送量は 19 年同月比で 4 月から伸び率が上昇した。宿泊者数の伸び率（19 年同月比）は 4 月から低下した一方、外食売上高の伸び率（同ベース）は上昇した。
- 6 月の消費は 5 月から減少したとみている。財消費のうち、百貨店大手 3 社の既存店売上高は 2019 年同月比で 5 月からプラス幅が縮小した。アパレル大手 3 社の既存店売上高はうち 2 社でプラス幅が縮小した。新車販売台数は 3 カ月ぶりに減少した（大和総研による季節調整値）。サービス消費では、東海道以外の新幹線輸送量は 19 年同月比で 5 月から伸び率が上昇した。JCB が集計した宿泊消費額、外食消費額（いずれも大和総研による季節調整値）は 5 月から増加した。

<消費全体の動き>

- ◆【JCB 総合指数】 24 年 6 月の JCB 総合指数¹（大和総研による季節調整値）によると、実質消費額の伸び率は前月比+0.3%。内訳を見ると、財・サービスともに前月から増加。

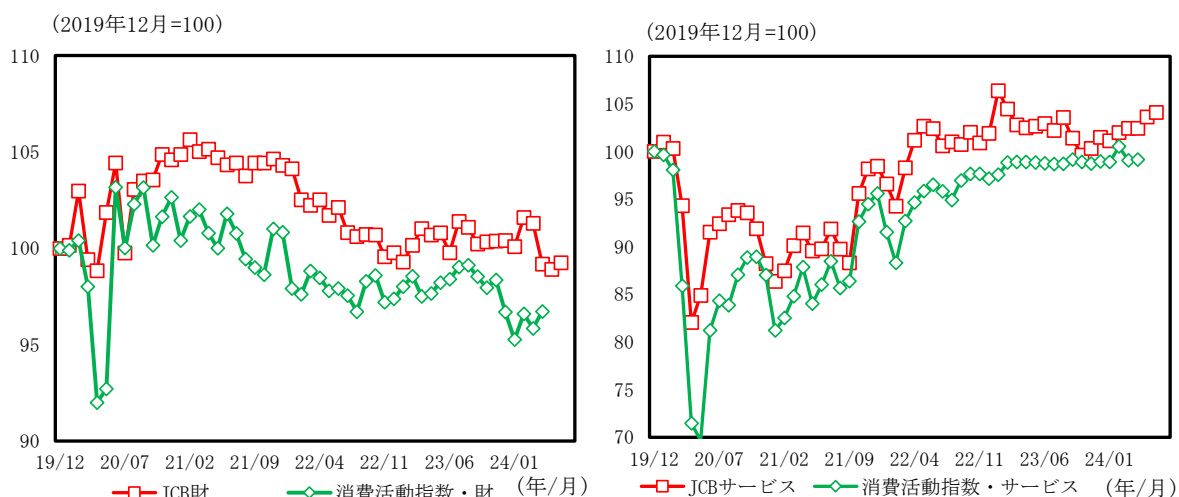
図表 1：消費活動指数・JCB 総合指数



(注) JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 6 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

図表 2：財・サービス別に見た消費の動き



(注 1) JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 6 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

(注 2) 財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。

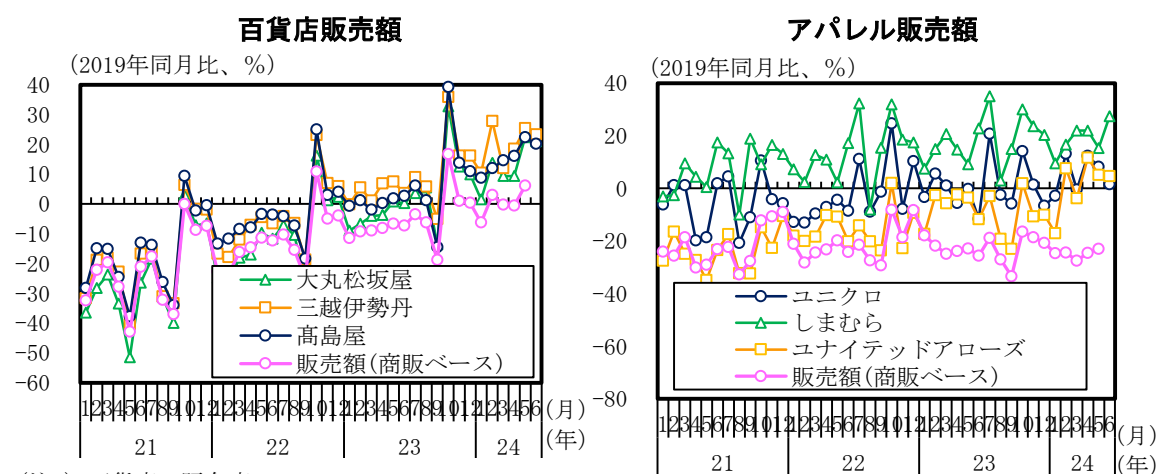
(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

¹ JCB グループ会員の中からランダムに抽出された約 1,000 万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

＜小売関連＞

- ◆【百貨店】 24年5月の百貨店商品販売額（商販ベース）は、コロナ禍前の19年同月比で伸び率が前月から上昇しプラスに転じた。24年6月の百貨店大手3社の既存店売上高は同+20～23%程度とプラス幅は前月から縮小。衣料品などの売上が軟調。
- ◆【アパレル】 24年5月のアパレル販売額（商販ベース）は19年同月比で前月からマイナス幅が縮小。24年6月の大手アパレル3社の既存店売上高はうち2社で前月からプラス幅が縮小。気温上昇で月下旬以降は夏物の売上が好調も、月全体では伸び悩み。

図表3：百貨店・アパレルの販売額



(注1) 百貨店：既存店ベース。

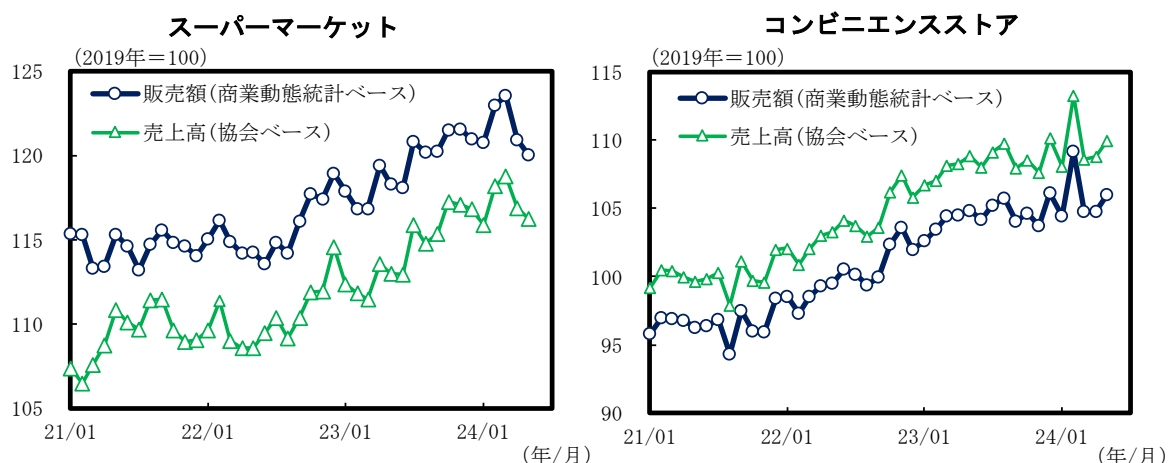
(注2) アパレル：既存店ベース。ユニクロとユニテッドアローズはネット通販を含む数値。しまむらの各月の数値は前月21日から当月20日の集計値、20年10月以降はオンラインストア含む。

(注3) アパレル販売額（商販ベース）は、商業動態統計の「織物・衣服・身の回り品小売業」を参照。

(出所) 経済産業省統計、各社資料より大和総研作成

- ◆【スーパーマーケット】 24年5月の販売額は前月比▲0.7%（大和総研による季節調整値）。衣料品や飲食料品などの販売額が減少。
- ◆【コンビニエンスストア】 24年5月の販売額は前月比+1.2%（大和総研による季節調整値）。食品の販売額、サービス販売額ともに増加。

図表4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高

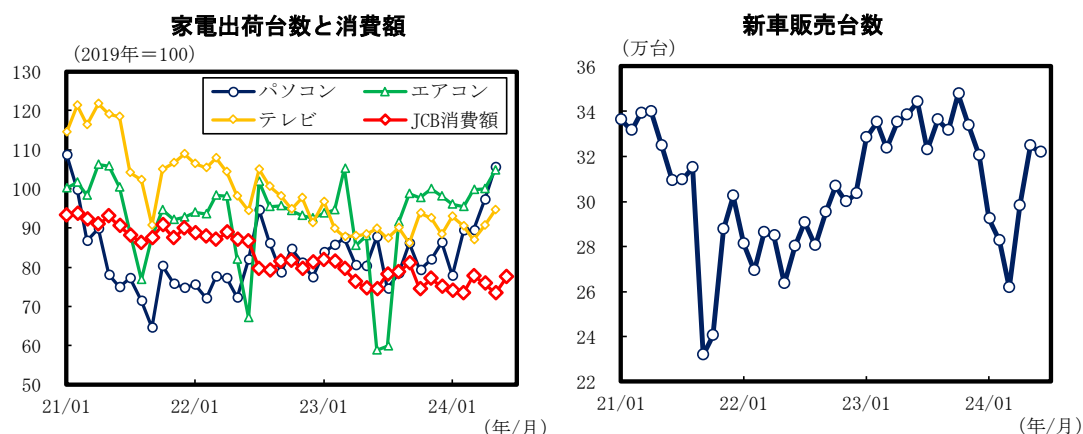


(注) 売上高（協会ベース）は既存店ベースの数値。大和総研による季節調整値。

(出所) 経済産業省、全国スーパーマーケット協会、日本フランチャイズチェーン協会より大和総研作成

- ◆【家電】24年5月の出荷台数はパソコンが前月比+8.5%、エアコンは同+4.7%、テレビは同+4.3%（いずれも大和総研による季節調整値）。24年6月のJCB消費額（機械器具小売業）は同+5.7%と3カ月ぶりに増加（大和総研による季節調整値）。
- ◆【自動車】24年5月の新車販売台数は前月比+8.9%。24年6月は同▲0.8%と3カ月ぶりに減少（大和総研による季節調整値）。大手自動車メーカーの認証不正問題の影響が一部に表れたとみられる。

図表5：家電出荷台数と新車販売台数



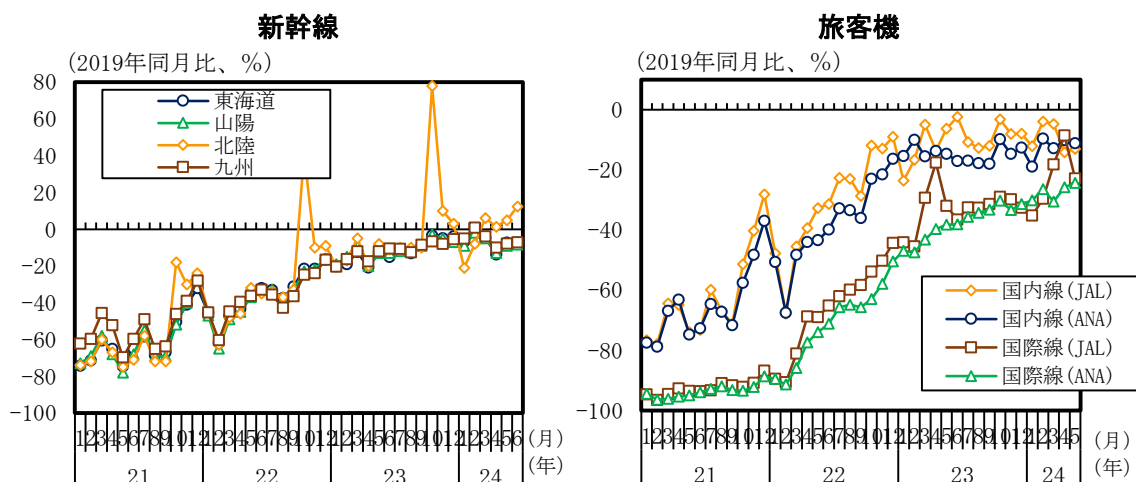
(注) 大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。24年6月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

(出所) 電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会
統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<サービス関連>

- ◆【新幹線】24年5月の輸送量は19年同月比▲9～+5%程度。24年6月の輸送量は同▲8～+12%程度と東海道以外では伸び率が上昇。
- ◆【旅客機】24年5月の国内線輸送量は19年同月比で▲13～▲11%程度、国際線輸送量は同▲24～▲23%程度。堅調な観光需要を受けて、24年の旅客便の供給量は拡大が見込まれる。

図表6：新幹線・旅客機の利用状況

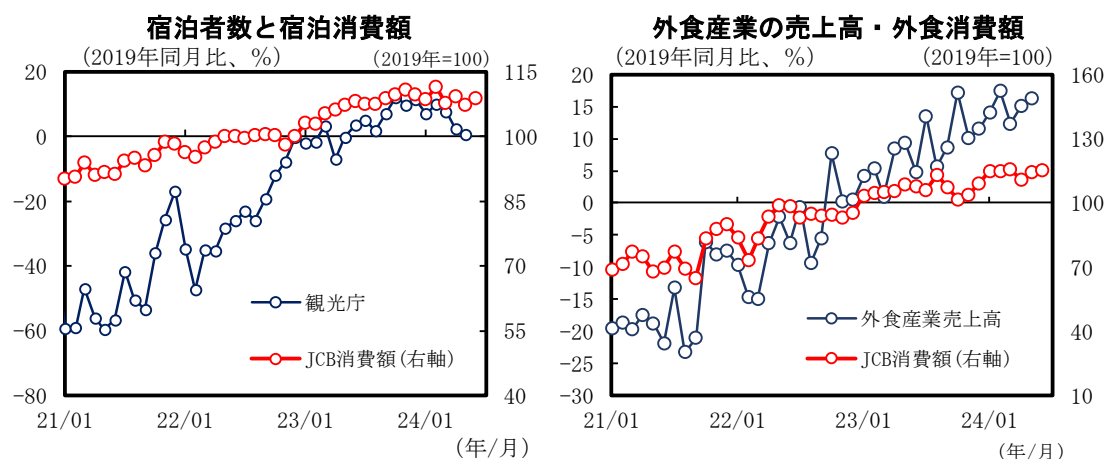


(注) 24年6月の東海は24日、山陽と北陸は21日、九州は25日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。

(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】 24年5月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は19年同月比+0.7%と前月からプラス幅が縮小。24年6月のJCB宿泊消費額は前月比+1.3%と増加。
- ◆【外食】 24年5月の外食産業の売上高は19年同月比+16.2%と、前月からプラス幅が拡大。24年6月のJCB外食消費額は前月比+1.1%と増加。

図表7：国内宿泊者数と関連消費額（左）、外食産業の売上高と関連消費額（右）

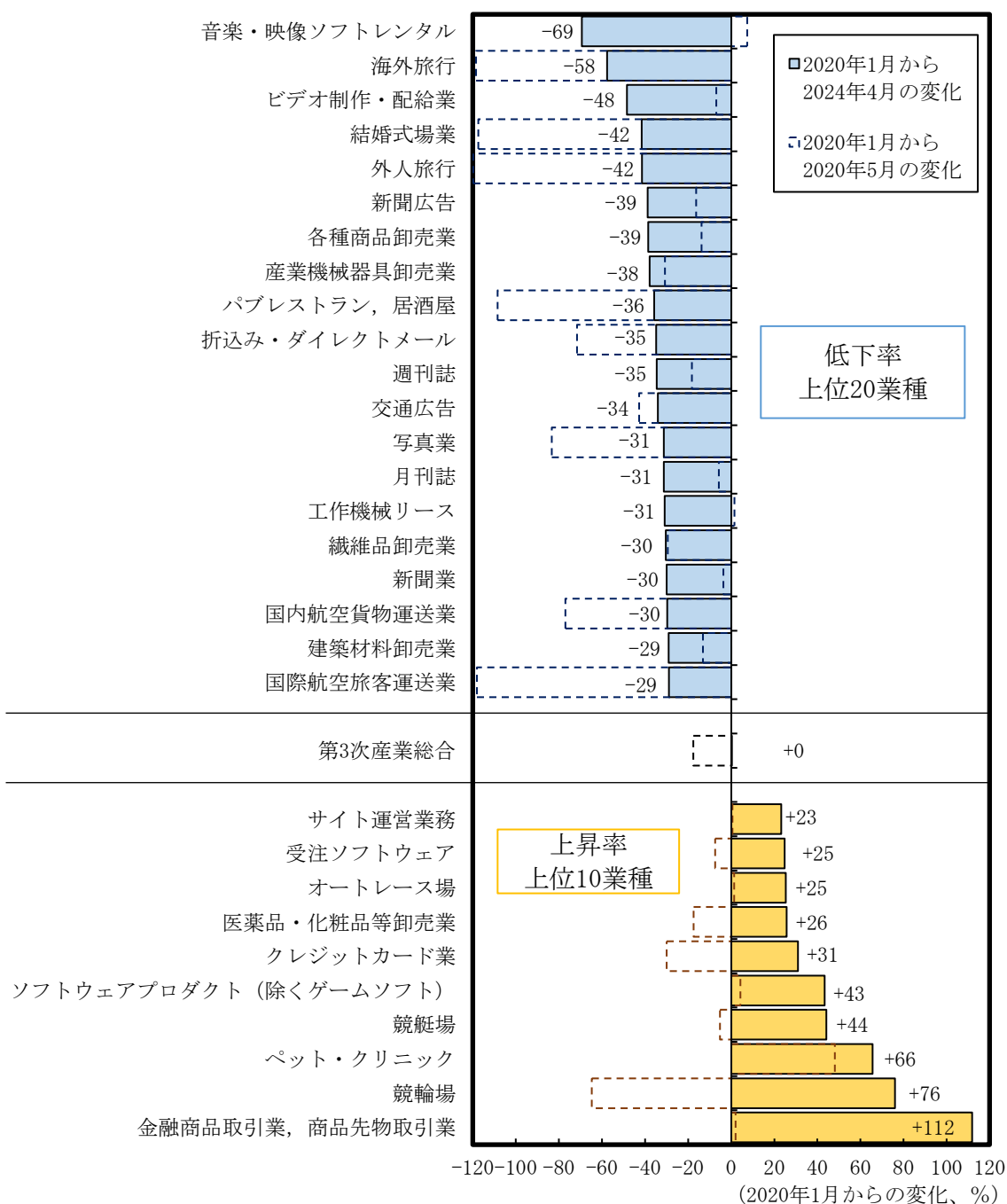


（注）大和総研による季節調整値。24年6月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を試算。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。

（出所）観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

＜参考：第3次産業活動指数＞

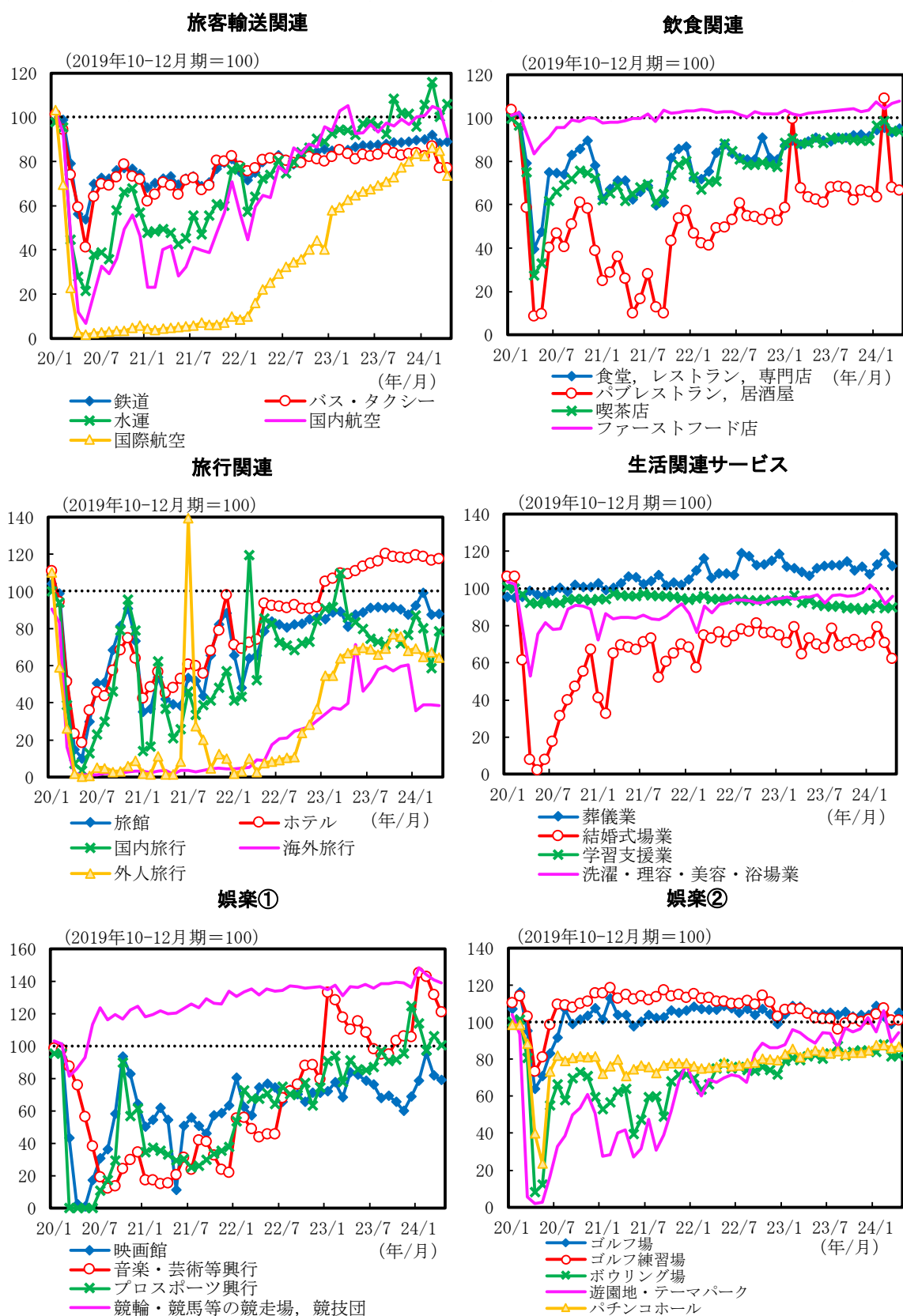
図表 8-1：第3次産業活動指数（2024年4月）



（注）季節調整値。図中の数値は2020年1月から2024年4月の変化率。

（出所）経済産業省より大和総研作成

図表 8-2：運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移



(出所) 経済産業省より大和総研作成